まどはしの四月

片山廣子

青空文庫

その小説はエンチヤンテッド・エプリル（まどはしの四月）といふ題であつたとおぼえてゐる。大正のいつ頃だつたか、もう三十年も前に読んで、題までも殆ど忘れてゐたが、二三日前にふいと思ひ出した。ロンドンで出版されて当時めづらしいほどよく売れた大衆もので、作者の名も今はわすれた。

郊外に住む中流の家庭の主婦が街に買物に出たかへりに、自分の属してゐる婦人クラブに寄つてコーヒーを飲み、そこに散らばつてゐた新聞を読む。新聞の広告欄に「イタリヤの古城貸したし、一ヶ月間。家賃何々。委細は○○へ御書面を乞ふ」と珍らしい広告文であつた。それを読んだその奥さんはごく内気な、まるで日本の古いお嫁さんみたいな古い女であつたが、さびしい地味な家庭生活の中で、彼女がかうもしたい、ああもしたいと心のしん底でいつも思つてゐた事の一つがその時首をもちやげたのだつた。空想はその瞬間にイタリヤの古城に飛んで、何がしかの家賃を払つて、その古城を借り夢にも見たことのないイタリヤの四月の風光をまのあたり見たいと思ひ立ち、さて家賃を考へる。さうしてゐるところへ顔なじみのクラブ会員がまた新聞室にはいつて来る。今まで少しの交際もしなかつた夫人であるけれど、内気の夫人はこの人にその広告を見せる。「あなたこの古城に行つて見たいとお思ひになりませんか？私たち二人でこの家賃を払つて？」その夫人もたちまちイタリヤに行きたくなる。二人は永年の親友のやうに仲よく並んで腰かけて細かくお金の計算をする。旅費、食費、家賃、それにコツクさんもお城に留守居してゐるから、彼女にも心付が入る、等々。二人の夫人は何かの時の用意に預けて置いた貯金を引出して、一生の思ひ出に今それを使つても惜しくないと思ふけれど、それにしてもお金がすこし足りない、彼等おのおのの夫には秘密にこの計画を実行したいと思ふので、くるしい工夫をする、どうしても足りない。

折しもこの室へわかい美しい会員がはいつて来る。考へこんで困つてゐた二人の奥さんはこの人に相談をかける。令嬢はびつくりするが、少し考へて忽ちその仲間にはいる。彼女はほんとうはなにがし侯爵令嬢でロンドン社交界の花形なのであるが、中流の地味な生活者の主婦たちは彼女を知らない。令嬢は想はぬ人におもはれてもやもやしてゐる最中だから、ちやうど好い隠れ場だと思つてこの夫人たちと行を共にし、費用の三分の一を持つことにする。令嬢はなにがし侯爵でなく父の家の本名を名のるから、彼女の身分は少しも分らない。すぐに話がきまつて彼等は愉しく出発する。

その古城は四月の海を見晴らして、夢のごとく、映画の如く、小説の如く、それよりもつと美しい。そこで事件がいろいろ起る。招かざる客が幾人も来る。私は細かい筋をわすれたけれど、令嬢は思ひもかけなかつた恋人（侯爵でも伯爵でもない、わかい立派な紳士）を得るし、二人の夫人たちも冷たく遠かつた夫たちを取りもどして、めいめいが賑やかにロンドンに帰つて来る話だつたと思ふ。久しい昔読んだのであるひは違つてゐるかもしれない。

今ごろ私がこの小説をおもひ出したのは、古城に遊びにゆきたいからではない。日本では立派な古城なぞはすべてお上（かみ）の所有品であり、絶えまなく焚物代りに焼き捨てられてゐるのである。

私が欲しいと思ふのは銀座か日比谷あたりに小さな女ばかりのクラブがあつたらと、外出ぎらひの私にしては不思議な注文である。買物の出はいりにちよつと寄つてコーヒーでも飲めて、雑誌や新刊

の本が読めたら気楽だらうと思ふ。むづかしい本と軽いよみ物と交ぜて気分次第に読む。さういふ処で若い人と年寄とが親しくなつて、各の世界は無限にひろがつて行くこともあるだらう。そんな事を考へて私は明日よりもつと遠い日に希望を持つのである。

どんな事にも先立つものがなければ仕方がない。今の時代には会社の使ひこみとかお役所の秘密の何々とかいふ場合、大てい三千万四千万といふやうな数字が新聞に出る。そんな多額のお金がどこともなく眠つてゐるものらしいけれど、そんなに沢山なくても、もつともつと小さいものでも天から降つて来るやうな奇蹟を待たう。奇蹟といふものは昔もあつて、今もあると私は信じる。

青空文庫情報

底本：「燈火節」月曜社
　　2004（平成16）年11月30日第1刷発行
底本の親本：「燈火節」暮しの手帖社
　　1953（昭和28）年6月
※底本は、物を数える際や地名などに用いる「ケ」（区点番号5-86）を、大振りにつくっています。
入力：竹内美佐子
校正：林　幸雄
2009年8月17日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

まどはしの四月

片山廣子

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/